

錫杖ヶ岳

April 2, 2017

天候は気まぐれなものであることは百も承知しているが、今年を含めて最近の天気は地域性が顕著になっていると感じる。もちろん科学的な根拠があつての話ではない。過去のデータから読み取る安心感は薄れていると思う。

今シーズンは残雪が豊富なので山スキーで赤禿山に行く予定にしていたが、足の不調もあって止めにした。そこで急遽、錫杖ヶ岳と呼ばれている山と三重県芸濃の名所を訪ねてみた。

名阪国道から三角形の形をした目立つ山が見えるが、この山が錫杖ヶ岳、登ってみると面白い山であった。標高は676mと低いが、頂上からのパノラマは素晴らしく、人を呼ぶ力となっている。登山ルートも楽しめる。ネットの報告も多いので概要は分かりやすい。

登山コースは錫杖湖から東側の道を使って登り、下山は柚之木峠を経由する周回コースにした。道は地元愛好者によってよく整備されていた。ただ、下山に利用した峠から先の道は少し荒れており、最後は北畑川の渡渉になるので、増水時は注意が要る。およそ3時間の行程であった。

ところで、この河内と呼ばれている地区は歴史的に由緒あるところであることを知った。下山後、下調べは何もしていなかったが、成覚寺に寄り、このお寺が平清盛の孫維盛が開基した岩間山成覚寺と呼ばれていることを知った。維盛の菩提もあり、この寺に嫁がれた方から丁寧な案内を受けたうえ、案内パンフや手作りの楊子セットまでいただいた。

さらに近くの楠原にはパワースポットとなっている石山観音公園がある。三十三観音を巡拝できるように順路が整備されていた。岩肌に彫られた観音様に感動させられる。楠原地区は伊勢別街道の宿場町であり、格子の家並が見られた。山だけでなくこうした歴史文化を学べるところは意義深い。

